

CASBEE®

大阪 みらい

建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

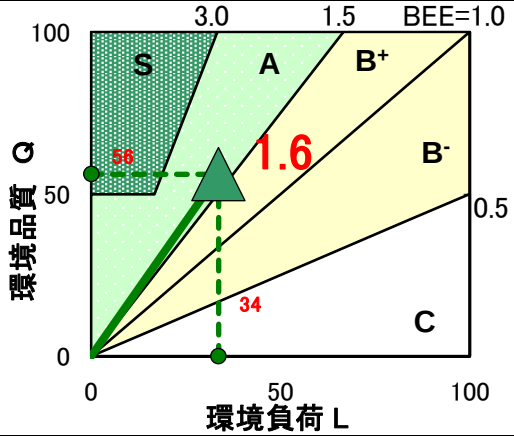
1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	CAPCOM本社北隣地オフィス新築工事	
建設地	中央区東高麗橋	
建築用途	事務所	
建築主	(株)カプコン	
設計者	(株)日建設計一級建築士事務所	
敷地面積	871.39㎡	
建築面積	706.20㎡	
延床面積	7,405.98㎡	
構造/階数	S造 / 地上10階、地下1階	
完了年(予定)	2027年2月	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

A

BEE=1.6

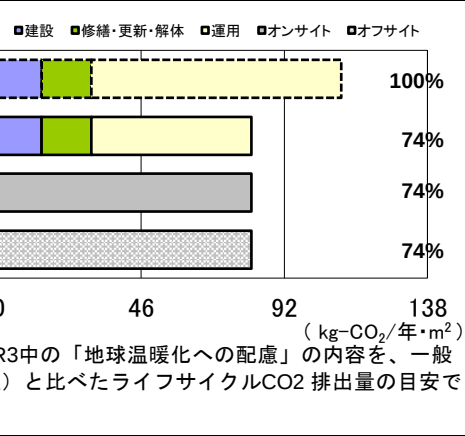
S:★★★★★ A:★★★★ B+:★★★ B-:★★ C:★



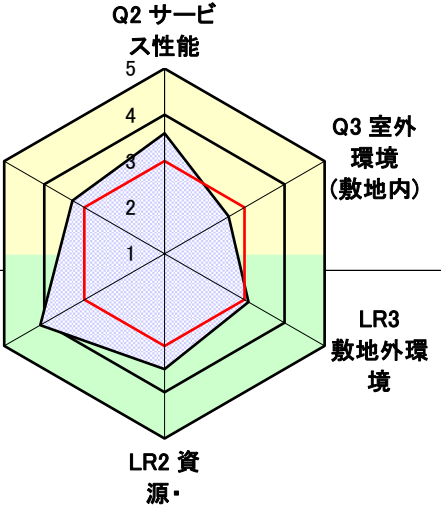
2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

30%:☆☆☆☆ 60%:☆☆☆ 80%:☆☆ 100%:☆ 100%超:☆



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



ラベル表示 有

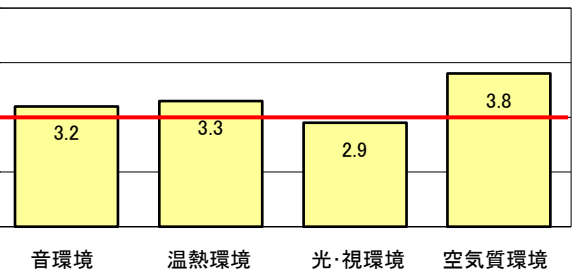
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア= 3.2

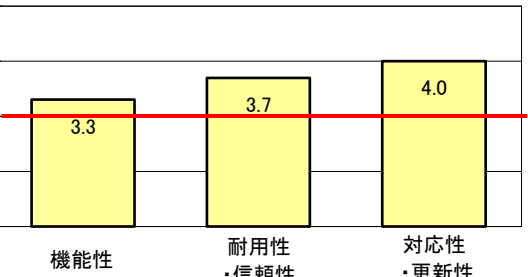
Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3



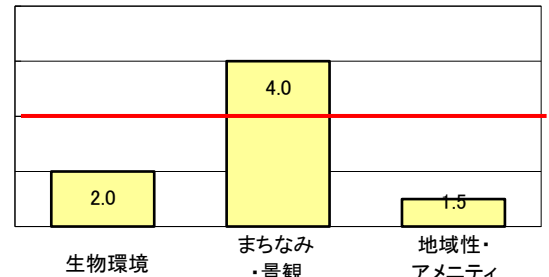
Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.6



Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.6

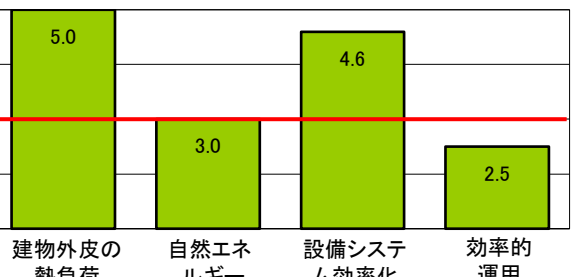


LR 環境負荷低減性

LR のスコア= 3.6

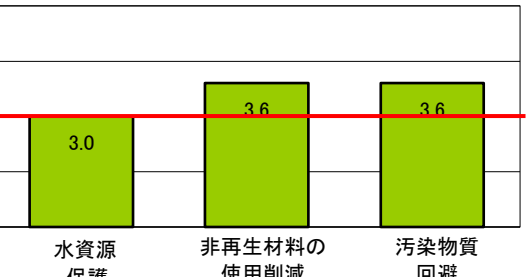
LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1



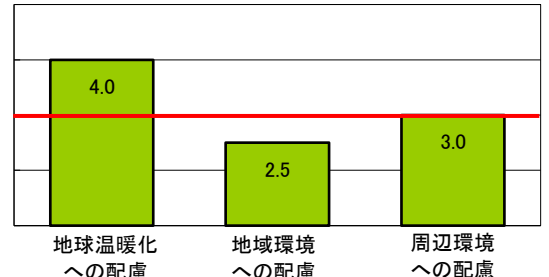
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5



LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.1



3 設計上の配慮事項		
総合 開口部を必要最低限の面積に絞り、Low-e複層ガラスを使用することで高い外皮性能とした。 光・温度環境の変化の大きいペリメーターゾーンにタワーPCラックを配置し集中して空調を行うことで、広々とした安定した環境の執務スペースを確保。		その他 ハザードマップの内水氾濫を想定した防潮計画及び電気諸室の上層階設置によるBCP対策。 災害時の帰宅困難者の一時滞在機能を確保し、自然通風を行える計画。
Q1 室内環境 CO2濃度の監視が可能な計画。	Q2 サービス性能 上町断層地震を想定した基礎免震構造を採用することで、災害時の安全を確保。 維持管理しやすいマテリアルの採用、長期の耐久性材料の使用 階高3.9m、天井高2.7mの大空間事務室。 設備の信頼性・更新性の高い計画。	Q3 室外環境 (敷地内) 立地特性に応じた緑化計画や緑量の確保。 近隣建物や周辺の景観に考慮した外装計画。
LR1 エネルギー 高効率機器の採用、全熱交換器・変風量制御、CO2制御の採用	LR2 資源・マテリアル 高強度の構造材を使用することで、材料使用量の削減に配慮。 節水型器具、自動水洗器具の採用による節水の徹底。	LR3 敷地外環境 廃棄物の分別をするゴミ庫の計画により、廃棄物負荷抑制への配慮。 近隣にある関連オフィスビルと連携した駐車場計画による交通負荷の軽減。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.6

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	4.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	1.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	4.6
配慮事項		

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPI _m]
	- (相当)	0.72
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m]	住宅部分[BEI]
	0.64	-
		非住宅部分[BEI][BEI _m]
		0.64